

町会のICT活用 ～ LINE回覧板と地域発信

草加ローカルプロジェクト



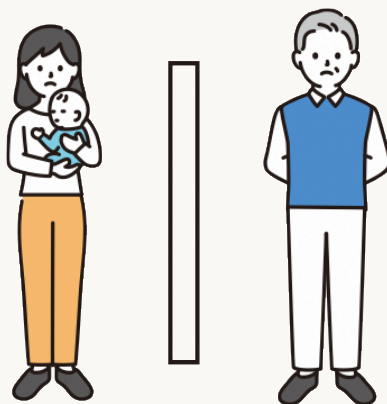
町会広報の悩み

こんな悩みはありませんか？



時間

回覧板が回る頃にはイベントが終わっている。



世代

共働きや若い世代に、紙の情報が届きにくい。



手間

役員さんの労力に任せてしまっている。

活動しているのに「情報が届かない」のはもったいない

LINE回覧板

町内会LINEの活用例



忘れない

スマホに通知が来るから忘れない。



写真で伝えられる

写真でイベントの様子を伝えられる。



防災時に最適

防災時、一斉に安否確認や情報を流せる



LINE活用のコスト

まずは無料で始められます

無料枠

月200通まで

100世帯に「月2回まで」の配信なら無料枠内。

まずは「3割の登録」からスタート。
使い勝手や、効果を確認めながら進められます

有料枠

5,000円/月

300世帯なら1世帯あたり年間約200円。

有用性を確認できたら、有料プランにするか、運用方法を工夫して無料枠の範囲で運用するかを決めましょう。

草加コネクトのメリット

簡単

チラシをLINEで送るだけ！

難しい操作は不要です。ラインでチラシの画像を送れば、イベントページとして掲載します。

拡散力

検索に強く、新住民に届く

Google検索やSNSなどから、町会を知らない若い世代に見つけてもらえます。

蓄積
信頼

活動が記録され、引き継ぎが楽に！

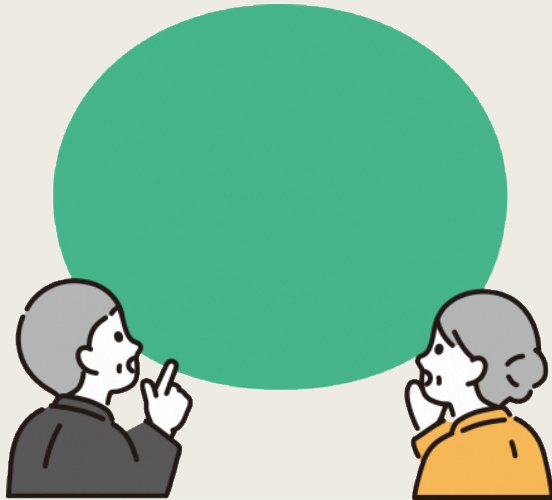
過去の実績が「履歴」として残ることで、次の活動のヒントや引き継ぎにも役立ちます。

情報の「出口」を使い分ける

LINE（町内向け）

クローズド

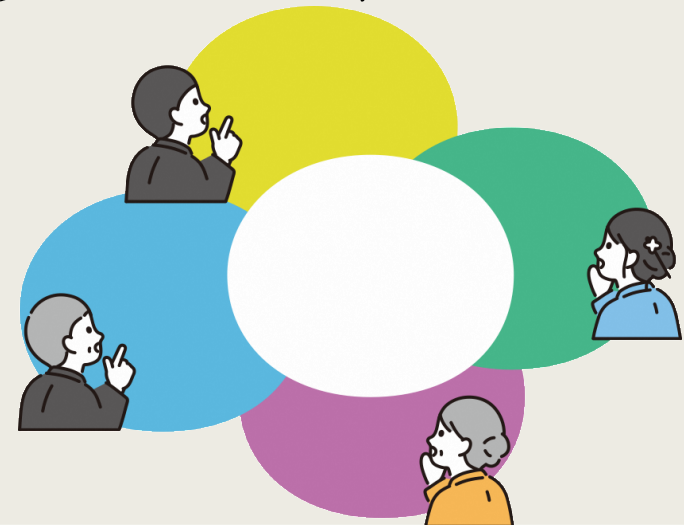
忘れない・身近に感じる



草加コネクト（地域向け）

オープン

見つかる・外とつながる



清掃、防災、見守り、会費の集金連絡
写真を入れると町内の安心感と信頼が高まります。

夏まつり、バザー、新住民への紹介
「大きな行事」は、外向けに発信できます。

なぜ オープンチャット ではないのか？

公式LINE と オープンチャット の違い

比較ポイント	LINE公式アカウント	オープンチャット
安心感	匿名性 登録者同士は見えない	参加メンバーが全員に見えてしまう
情報の整理	掲示板 町会の連絡が埋もれない	雑談が多く、大事な連絡が流れる
運営のしやすさ	管理 誰が入っているか把握できる	誰が参加しているか特定しづらい
個別フォロー	相談 1対1でチャットができる	全体公開の場でしか話せない

住民は **安心** して登録でき、役員は **確実** に運営できる。

まずは、LINE運用から

手軽に
確実な連絡を
デジタルの力で



無理に
全部をやろうとせず
まずは連絡網として

その先に草加コネクトで外の世界ともっとつながる。